

いつになったら  
山菜は...



# 九条はらまち

福島県「はらまち九条の会」会報 No.264  
2015(平成27)年5月26日(火)発行

五月一日「朝日新聞」報道の放射線量。



ふるさとの地形に線量記されみて

天気予報のごとく見てをり

○5月11日付『朝日新聞』「朝日歌壇うたをよむ」に、自宅が事故原発から南へ約1.5km地点、大熊町夫沢から会津若松市に避難している吉田信雄さん(会員)の秀歌が紹介されていました。

○福島県ではテレビニュースの後に天気予報のように放射線量が告げられています。奇異なことです。

## 総理！そんなに戦争したいですか？

### 私たちは平和的生存権を要求します！

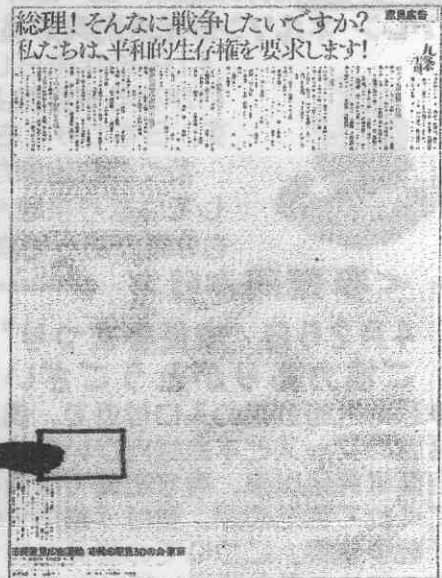
#### 今年も5月3日・全国紙掲載の「市民意見広告運動」に協賛、参加

○5月3日付の『毎日新聞』『読売新聞』『沖縄タイムス』三紙の朝刊に、平和を願い憲法9条を守ろうと訴える「意見広告」が掲載されました。

▼5月3日『毎日新聞』16面

○「意見広告」は“紙上のデモ”とも言われ、本会も毎年協賛しています。今年も全国9,970名とともに「はらまち九条の会」の名が記載されています。さらに協賛の会員氏名もたくさん載っていました。

○「意見広告」の内容は、安倍首相が来年夏の参議院選挙後に憲法改正を發議したり、憲法を無視する政策への怒りや抗議です。



## 届け 国民の声 「9条 壊すな！」 「戦争法案、今すぐ廃棄！」

### いま、国会議事堂前や全国各地で 反対運動が活発です

- ◆「戦争法案」「辺野古移設」反対のデモ、参加女性の熱気がすごいそうです。
- ◆安倍さんの国会答弁は不誠実です。ポツダム宣言も読んでいないなんて…政府与党は最後は「戦争法案」を強行採決で成立させるのではないかな？
- ◆アメリカのための参戦で、自衛隊員の命が危ない。リスクは高まるばかり。
- ◆4月18日の毎日新聞世論調査、「9条改正 反対55%・賛成27%」。
- ◆5月16日朝日新聞世論調査、「安保11法案今国会成立・必要ない60%」。
- ◆5月22日山形市で開催の「東北六州市町村長九条の会連合」(約80人)第2回総会で、「戦争法案を廃案にし、他国の戦争に日本が巻き込まれようとする動きを完全に止める決意」の緊急アピールを採択しました。



「早く質問しろよ」とヤジを飛ばす安倍首相  
5月28日、飯塚晋一撮影

お便り・ニュースから



福島のために血税を使って欲しい

■お元気ですか。5月3日のみなとみらいの集会に参加しました。横田に来る米軍のオスプレイ、我が家の上を飛ぶようになり、日本もアメリカの一つの州になってしまいました。事故原発の廃炉作業員の健康はどうなのでしょう。オスプレイも買うお金は、国民の血税です。福島のために使って欲しいものです。(東京都町田市の会員勝田洋子さん)

「脱原発宣言」の南相馬市にエール

●3月25日、南相馬市は市議会で「脱原発都市宣言」を表明しました。原子力エネルギーに依存しない町づくりを進める方針で、全国の原発立地自治体に先駆けての「脱原発都市宣言」で、大きなエールを送ります。(東京都「さらば放射能ニュース」4月号)

新刊紹介



井戸川克隆・佐藤聡著 『なぜわたしは町民を埼玉に避難させたのか』

駒草書房 ¥1,850+税  
前双葉町長井戸川氏について、震災前は第一原発7、8号機増設を進めていたのに、事故後はいかにも被害者然として東電批判など、あまり良い印象ではなかった方も多はずです。

でもこの本を一読すると、井戸川氏は「放射能から町民を守る」の一念で奮闘し、そのために国や県の方針に抗い「悪者」になります。国や政府や県は、帰還促進や経済面から放射能を過小評価し隠蔽や欺瞞の連続で、被災民を見棄てているかのようです。闘い続ける井戸川氏を思わず応援したくなってきます。皆さんは？



テレビから

5月3日放映・BS・NNNドキュメント「九条を抱きしめて～元米海兵隊員が語る戦争と平和」  
▼アレン・ネルソンは元米海兵隊員。ベトナム戦争に参戦したことで「9条」に覚醒。2009年に死去。



『1996年来日し日本国憲法第9条に出会い、自分の眼を疑いました。第9条はいかなる核兵器よりも強力であり、いかなる国のいかなる軍隊よりも強力なのです。日本のみなさんは、憲法9条がある幸せに気づくべきです。多くの政治家が憲法9条を消し去ろうと躍起になっています。断じてそれを許してはなりません。9条は日本人にのみ、大切なものではありません。アメリカにも9条があって欲しい。地球上のすべての国に9条があって欲しい。』

＜事務局より＞

4月26日“市民春まつり”にご協力ありがとうございました

◆原町区旭公園の入口付近で、偶然ですが自衛隊のブースと本会は向かい合わせでした。自衛隊発足以来、専守防衛で隊員の命を守ってくれてきたのが、実は「憲法9条」です。「戦争法案」についての隊員の方や家族の本当の気持ちをお聞きしたいものです。

市外に避難者50名、県外の会員は60名

◆No.263の会報に「集団的自衛権容認反対」の新聞折り込みチラシを、縮小コピーで載せました。本会会員は5月16日現在438名。そのうち市外に避難者が50名、市外県外の会員さんが60名おられ、南相馬市以外の方々に見ていただくための掲載です。

南相馬市による「憲法・小冊子」の発行!! 市内全戸への配布が内定

◆これを市外や県外の「九条の会」の集まりでお話すると、会場から大きな拍手が巻き起こり、「すごい!!」という称賛の声も寄せられます。

震災後、被災地の「南相馬市」はずいぶん全世界に発信されましたが、さらに昨年からの南相馬市議会が、①2014年6月19日「集団的自衛権行使容認に反対の意見書」を可決し、②今年3月25日には「脱原発都市宣言」を表明。そして今回③全市全戸への『憲法』配布の決定ですが、全国でも画期的なことです。この3件でますます南相馬市が注目されることでしょう。



＜「はらまち九条の会」事務局員連絡先 市外局番は、TEL0244＞

- 会長：平田慶肇(ひらたけいいち) TEL24-1211
- 事務局長：山崎健一 TEL090-7527-5453 Eメール:yamazakiken1@gmail.com
- 会計：井上由美 〒975-0031南相馬市原町区錦町1-43井上薬局内 TEL22-7511・FAX26-0892
- 石田賢二 ○早坂吉彦 TEL22-0326 ○番場恵子 TEL22-0715 ○志賀勝明
- ホームページ担当：大浦祥見 TEL24-0704 :栗村文夫・桂子TEL090-8851-6904

